

第40回経営協議会議事録

日 時 平成26年3月25日(火) 14時00分～15時40分
場 所 ホテルクラウンパレス浜松3階「松の間」
出席者 中村(議長)、伊藤、猿田、鈴木(勝)、永井、村本、鈴木(修)、瀧川、晝馬の各委員
陪 席 小出理事(教育・国際交流担当)・副学長、中原副学長(情報・広報担当)、
蓑島副学長(研究・社会貢献担当)、山崎監事

1. 議事要旨の確認

第39回経営協議会議事要旨(案)を原案どおり確認した。

2. 議 事

(1)平成26年度計画(案)について

議長から、平成26年度計画(案)について、重点となる計画を中心に説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

①業務運営について

大学改革や機能強化に向け、学長特別補佐の設置や不正防止体制に向けた組織の整備を行うとともに、資源配分の見直しを行う。

②教育について

- ・グローバル化に向けた学生への支援として、科目の新設を行うだけでなく、学術交流協定校への短期留学等に対し、経済的支援を行う。
- ・医学教育の国際基準化に向けた組織整備のため、地域医療実習の環境整備を行う。

③研究について

ミッションの再定義に基づき、研究環境及び研究機器の充実を図るとともに、寄附講座内での研究を推進させる。

④診療について

高度医療の充実を図るため、ハイブリッド手術室の増設を目指す。

(2)平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について

議長から、平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(3)平成26年度資金管理計画(案)について

会計課長から、平成26年度資金管理計画(案)について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(4) 規則の改正等について

① 給与・退職手当にかかる規程の改正

- ・ 人事課長から、役員の退職手当について説明があり、審議の結果、原案のとおり、承認した。
- ・ 引き続き、人事課長から、役員給与規程、職員給与規程、職員退職手当規程の改正内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

② 政府調達に係る規則等の改正

- 会計課長から、会計規則及び政府調達事務規程の改正内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

③ 諸料金規程の改正

- 会計課長から、諸料金規程の改正内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

④ 病院諸料金規程の改正

- 医事課長から、病院諸料金規程の改正内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

⑤ 被服等供用規程の改正

- 病院経営支援課長から、被服等供用規程の改正内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(5) ミッションの再定義（保健系分野）について

- 議長から、ミッションの再定義について、個票案に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(6) その他

① 国家試験の合格状況について

- 議長から、医師国家試験及び看護師国家試験等の合格状況について、報告があった。

② 平成 26 年度入学状況について

- 議長から、平成 26 年度の入学状況について、報告があった。

③ 平成 26 年度経営協議会開催日程について

- 議長から、平成 26 年度経営協議会開催日程等について、報告があった。

次回の経営協議会について（平成 26 年 6 月 25 日開催予定）

※学外委員からの主な意見（○：学外委員の意見等、◆本学側の意見・説明等）#

議事（１）平成 26 年度計画（案）について

- 浜松医科大学としてはダヴィンチシステムの導入を検討しているのか。
- ◆現在、保険適用となっている項目はかなり限定的であるため、先端医療の提供や若手医師の育成ができる体制の一環として考えている。財源の確保や人員の整備を行った後、導入する予定である。
- 英語教育の向上策として、いくつかの科目においては、担当教授の判断により英語テキストに基づいた授業を行ってはどうか。
- ◆英語テキストの導入などは検討しているが、実施には至っていない。また臨床実習前の 3、4 年次において、英語での OSCE 実施を検討している。

議事（２）平成 26 年度事業計画（案）及び予算（案）について

- イノベーション及びグローバル化のための基盤整備をしてきていると思うが、外に向け、整備状況を広報することが重要ではないか。
- ◆プレゼンテーションが足りない部分があったと感じるため、今後は積極的に広報していく。
- 厚生労働省としては在宅医療、最先端医療を目指す学生の育成に力を入れていく方針であるが、浜松医科大学としてはどのような取り組みを検討しているか。
- ◆在宅医療に対する取り組みとしては、菊川市、森町と連携し、家庭医療センターでの家庭医の育成を目指している。

議事（５）ミッションの再定義（保健系分野）について

- ミッションの再定義では産業保健への取り組みがクローズアップされているが、保健系分野においても、地域医療への貢献を継続していただきたい。
- ◆家庭医療センターと協力し、看護学科生も地域医療実習を行うことを検討している。